

動物実験に関する自己点検・評価報告書

平成 24 年度

関西医科大学

平成 25 年 6 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
動物実験規程 平成23年12月13日施行 動物を用いた感染実験の実施に関する要項 平成25年1月8日施行
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
感染動物実験における安全対策（国立大学動物実験施設協議会）に基づき、感染実験を行うにあたり「感染動物実験申請書」を作成し平成25年度から実施できるように改善した。
4) 改善の方針
該当しない

2. 動物実験委員会

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料
動物実験委員会規程、動物実験委員会名簿
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
動物実験委員会が適正に運営されている。
4) 改善の方針
該当しない

3. 動物実験の実施体制

（動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか？）

1) 評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料
動物実験委員会規程、動物実験規程
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）
動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。

4) 改善の方針

該当しない

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験委員会規程、動物実験規程、遺伝子組換え実験安全管理規程、動物用医薬品指示書および許可記録、感染動物実験室利用細則

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。)

安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が適正に定められている。遺伝子組み換え動物実験に関しては動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が適正に定められている。

4) 改善の方針

該当しない。

5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験規程、実験動物飼育共同施設利用内規、実験動物飼育共同飼育管理運営規程、1号館地下飼育区域利用マニュアル、2号館地下飼育区域利用マニュアル、3号館地下飼育区域利用マニュアル、霊長類の飼育と使用に関するガイドライン、新SPF飼育区域利用マニュアル、(旧癌治)実験動物ハイテク飼育室利用マニュアル、SPF動物飼育室利用細則、感染動物実験室利用細則、

3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)

実験動物飼育共同施設長の指導のもとに、各部門・教室の動物実験委員が現状を把握する体制になっている。

4) 改善の方針

該当しない。

6. その他 (動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果)

平成25年に新学舎に移転し、動物施設の移転、あらたな利用規程を視野に含めた取り組みを開始している。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

(動物実験委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験委員会規程 動物実験計画書、審査表
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験委員会規程に基づき、委員 5 名 (教授 5 名) による審査を適正に実施している。
4) 改善の方針 該当しない。

2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 各部門から提出された動物実験計画書、審査記録、動物実験履行 (中間) 結果報告書、
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が適正に実施されている。 実験報告書の内容を新たに具体化し、使用動物数などの記入を義務付けた。
4) 改善の方針 該当しない

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 (安全管理上の事故等があれば、事故記録を対象とする) 動物実験計画書、動物実験履行 (中間) 結果報告書、
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 安全管理を要する動物実験が適正に実施されている。

4) 改善の方針

該当しない。

4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

動物実験委員会規程、動物実験規程、実験動物飼育共同施設利用内規、1号館地下飼育区域利用マニュアル、2号館地下飼育区域利用マニュアル、3号館地下飼育区域利用マニュアル、霊長類の飼育と使用に関するガイドライン、新SPF飼育区域利用マニュアル、(旧癌治)実験動物ハイテク飼育室利用マニュアル、SPF動物飼育室利用細則、感染動物実験室利用細則、

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

実験動物飼育共同施設利用内規等に定められた方法で飼育保管を行っている。

4) 改善の方針

該当しない。

5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の施設等は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

実験動物飼育共同施設利用内規、実験動物飼育共同飼育管理運営規程

3) 評価結果の判断理由(改善すべき点や問題があれば、明記する。)

飼育保管施設は、実験動物飼育共同施設長の指示のもとに適正に維持管理されている。
建物の老朽化に伴い、壁などの部分的な補修の必要が時折発生しているが、随時対応してきた。
25年度からは新施設に移転し、新たな管理体制に移行する。

4) 改善の方針

該当しない。

6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料 講習会実施記録。
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 毎年大学院総合講義（4月）を実施、その後追加講習会およびテストを実施し許可されたものは5年間有効の受講登録番号を取得する。24年度 16回（延べ98名受講）
4) 改善の方針 該当しない

7. 自己点検・評価、情報公開

（基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか？）

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 本学ホームページ
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 一部公開している。
4) 改善の方針 平成24年11月に動物実験に関する自己評価結果、策定中の学内規程等の公表を実施した。

8. その他

（動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果）

平成24年度	平成25年3月現在												
<ul style="list-style-type: none"> ・動物実験審査件数 115件 ・審査後承認件数 115件 ・施設情報 実験動物飼育共同施設（1施設） ・飼養状況 													
<table border="1"> <thead> <tr> <th>動物種</th> <th>マウス</th> <th>ラット</th> <th>ウサギ</th> <th>サル</th> <th>モルモット</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>動物数</td> <td>16,369</td> <td>1,827</td> <td>39</td> <td>18</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>	動物種	マウス	ラット	ウサギ	サル	モルモット	動物数	16,369	1,827	39	18	15	
動物種	マウス	ラット	ウサギ	サル	モルモット								
動物数	16,369	1,827	39	18	15								
平成24年度関西医科大学動物実験委員会（5名）構成													
(1) 動物実験等に関して優れた識見を有する者 教授2名（専門：神経生理学、免疫学）													
(2) 実験動物に関して優れた識見を有する者 教授1名（専門：実験病理学・発生生物学）													
(3) その他の学識経験を有する者 教授2名（専門：生物学、健康科学）													